

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	北守 清	会員番号:	13077	事務局整理記入欄	北海道 - 199
分水嶺区分:	佐幌岳北P1036～H100稚空知山～P721	(3)山行日:	2005年	4月	23日	(4)天候	曇後晴:積雪3m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL北守 清	13077								
SL助田 陽一	12995								
田島 祥光	13058								
助田 梨枝子	12996								
計				4名				計	名

(6)山行記録:位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	佐幌岳北方P1036～H100稚空知山～H099 784.1～前回のテント場P854												
アプローチ:	22日帯広～午後シートカチ林道車2台デポ～佐幌岳登山口下見。23日新内川水利施設駐車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	新内川水利施設	佐幌岳	142	47	42.2	43	11	14.1	520		6:55		(10)
分水嶺到達点	P1034	佐幌岳	142	46	19.8	43	11	16.8	1,034	10:00	10:05	B-4	(8)・(9)・(10)
H100	稚空知山 942.6	北落合	142	44	18.1	43	12	55.9	943	13:45	14:00	B-4	(9)
分水嶺離別点	C728東 P721	北落合	142	44	12.9	43	14	11.8	721	15:15		B-4	(9) C1
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):											13時間50分		
(3日間の合計)													

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H100	稚空知山 942.6		未確認	未確認	積雪の為確認出来ず。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

稜線P1034に反射板塔2基あり(N43°11'16.8、E142°45'33.6)

(9)水および植生に関連した特記事項

P1034～稚空知山P942.6稜線上は白樺の小径木が殆どである。 稚空知山P942.6鞍部から分水嶺終了地点までの間は、白樺、ダケカンバ、トド松(直径30～50cm)が多くみられる。

(10)その他の特記事項

第1日目(23日)登山開始から強い風であったが新内川沿いは風も弱く、途中熊の足跡があった。 気温が高く新雪の為スキーに雪が付き重い為、P1034の稜線に出ると気温が低く又風が強いがスキーに雪が付くことも無く 周囲の山々が良く見られ快調に進む。予定より1.6kmも進みC1。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: